

※注意：2018年8月1日時点の一次案（変更される可能性があります）

調査部門・技士

2018.8.1

問題	項目	出題の内容
1	地形・地質	ローム台地、河岸段丘、海岸段丘
2	〃	三角州、自然堤防、後背湿地、旧河道
3	土質	特殊土の特徴（有機質土、ローム、黒ぼく、しらす）
4	〃	室内土質試験から求められる地盤定数
5	地盤の液状化	液状化検討対象層、液状化による被害傾向
6	事前調査	地形図、地質図、土地条件図、ハザードマップ
7	読図	自然堤防、段丘、中州、谷底平野
8	現地踏査	敷地の高低差、傾斜、擁壁や盛土の確認、
9	SWS試験	SWS試験の特徴（長所、短所）
10	〃	計測機器（載荷荷重、回転速度）、スクリーポイントの形状
11	〃	推定する地盤定数を求める場合の留意点
12	〃	データ整理（ N_a 、 N_{sw} 、 N 値、 q_u 値）
13	〃	追加測点、補足調査の考え方、敷地状況・計測結果から予想される地盤状態
14	各種調査法	標準貫入試験、三成分コーン、ポータブルコーン、大型動的コーン
15	サンプリング	各種オーガーボーリングの種類と特徴
16	試験結果と考察	新規造成地における注意事項、追加調査の選定
17	〃	調査地とSWS結果から読み取れる地形・土質
18	〃	追加調査の選定、調査時に事前に告知すべき事項
19	盛土	盛土の放置期間、経過年数と圧密沈下、最適含水比
20	擁壁	重力式擁壁、片持ち梁式擁壁、空積み造擁壁、増積み擁壁
21	地業・コンクリート基礎	捨てコンクリート地業の目的と留意点
22	表層地盤改良	配合量、改良厚さ、設計基準強度の規定
23	〃	モールドコア供試体の作成と箇所数、品質管理の確認手法
24	柱状地盤改良	近接施工、適用土質、適用深度と改良径
25	〃	攪拌装置、羽根切り回数、スラリーの吐出量
26	〃	W/C比、モールドコア供試体の作成と箇所数、杭頭処理
27	小口径鋼管	鋼管の材質、支持地盤、細長比、拡底翼径の制限
28	〃	施工管理（鉛直精度、頭部レベル、施工管理値、溶接作業）
29	小口径既製コンクリートパイル	パイルの形状、最小断面寸法、長さの制限、適用地盤
30	倫理	地盤技術者の瑕疵と責任について